



授業参観ありがとうございました

今年度最後の授業参観が学年毎に行われました。1年間の学習の成果を参観していただきました。子どもたちは、頑張って準備や練習をしてきた成果を保護者の皆様に見ていただき、とても満足そうでした。進級・進学に向けての意欲を高める上でよい発表の場となりました。多くの保護者の皆様に足を運んでいただき大変ありがとうございました。



歌やリコーダー、合唱や合奏の発表。体育のマット・跳び箱運動の発表。音読劇の発表。総合的な学習で調べてきたことの発表。理科実験の発表。プラネタリウムでプログラミングした星空を投影しての発表など、子どもたちがこの一年間学習した中でお家の方に伝えたいことについて、工夫を凝らして発表することができました。



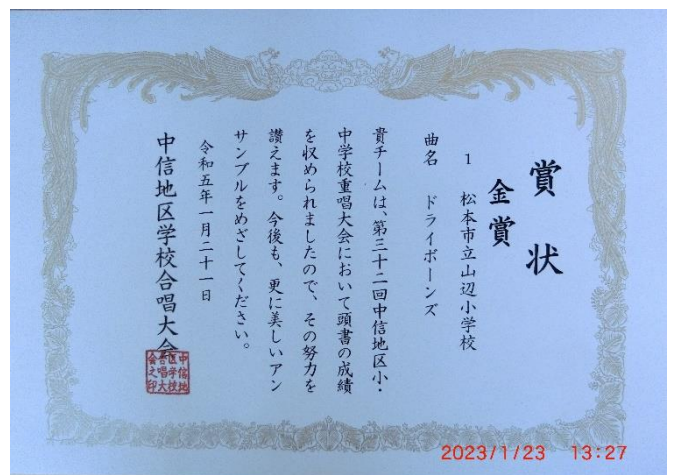
児童会引継ぎ

来年度の児童会長選挙が行われ、5年生の中から令和5年度の児童会長が選出されました。そして、各委員会の委員長、副委員長、書記の新三役が決まりました。児童総会では、6年生から5年生へ児童会の引継ぎをしました。6年生は卒業、そして、中学進学に向けて、5年生は児童会の推進、そして、最高学年に向けて、それぞれが大きな一歩を踏み出しました。



1月～2月の行事から

1年生は、2年生との交流学习をしました。2年生はけん玉教室をしました。3年生は、「旧山辺学校」の見学に行きました。4年生は「朝日プライムスキー場」で、5・6年生は「やぶはら高原スキー場」で、スキー教室を実施しました。合唱団は、合唱大会に参加して金賞をいただきました。金管バンド部は、アンサンブル交歓会に参加しました。



連絡

1 転出・転入の情報について（再掲）

転出や転入の情報（予定及び見込みを含めて）がありましたら、速やかに学校へ連絡してください。

【連絡先】〔TEL〕32-2619 教頭までお願いいたします。

2 職員の非違行為防止研修実施

山辺小学校では、非違行為防止根絶に向けて、職員による非違行為防止研修を実施しています。

3 欠席時の配布物について

欠席時の配布物については、新型コロナウイルス感染症による感染拡大が起こる前までは、「連絡児童」にお願いして、欠席した児童のお宅に届けてもらっていました。しかし、感染拡大が始まった当初は、新型コロナウイルスについて分からないことが多かったので、極力接触を避けるために連絡児童に届けてもらうことを中止して、お家の方に学校まで取りに来ていただくようにしました。今でも依然として新型コロナウイルスの感染は懸念されていますが、適切な感染防止対策を実施しながら、日常の生活を取り戻していくようになってきました。そこで、欠席時の配布物については、「連絡児童」に届けてもらうことを再開したいと考えています。ただし、連絡児童に届けてもらうことを長い間中断していたので、すぐに元通りにすることは難しいと思います。保護者の皆様には、近所に「連絡児童」をお願いできるお子さんがいるかどうかを再度確認していただき、「連絡児童」となるお子さんの保護者をお願いをしていただきたいと思います。「連絡児童」となるお子さんがいない場合は、これまで通り保護者の皆様に直接学校まで取りに来ていただきたいです。学校と家庭、家庭と家庭との繋がりを大切にしながら、お互いに助け合って、同じ地域の子どもたちを健やかに育てていくことが大切であると考えます。保護者の皆様のご理解ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

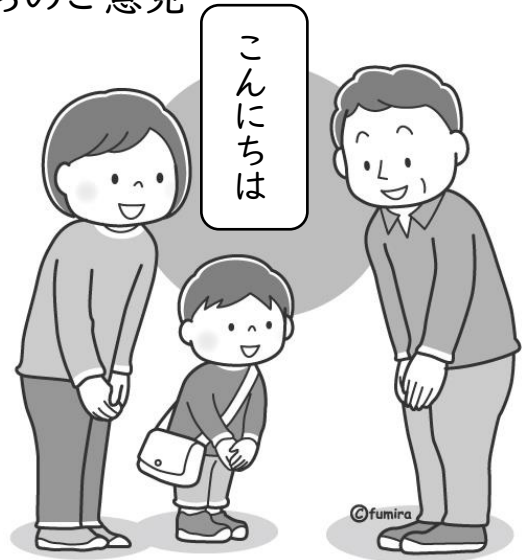
学校評価アンケート 学校運営委員より

山辺小学校では、学校運営委員の皆様にご来校いただき(年3回)、子どもたちの様子や教育環境を見ていただいています。そして、外部の視点からいただいたご意見を、学校運営に生かしています。今年度、学校運営委員の皆様からは以下のようなご意見をいただきました。

学校運営委員の皆様からのご意見

1 良い点、今後も継続していきたいこと

- ① 子どもが子どもらしく、とてもかわいらしく見えました。
- ② 廊下の掲示物等を見るだけで子ども達の成長が理解できます。早くコロナが収束し、地域の方々が、様子を見ることができれば良いと思います。
- ③ 写真や文書フォーマットを使用して記事を作っていました。
- ④ 友達と一緒に関わりながら問題を解く姿がありました。また、先生といっしょに楽しそうに勉強しているクラスがほとんどで、子どもと信頼関係が築けていると思いました。
- ⑤ 業間休み、寒いのに元気よく外で遊ぶ子がたくさんいました。
- ⑥ 5年生の田んぼや6年生のぶどう作りなどの支援がコロナ禍の中でも継続されており、とても素晴らしい事業だと感じております。



2 課題

- ① 学校の中で会う時には挨拶をしてくれる子どもは多いと感じます。しかし、学校の外では挨拶をしてくれる子どもは少ないように感じます。
- ② 一端末を使って文書を作成する機会が増えた半面、手書き離れしているところもあり、少しさびしさを感じます。



3 まとめ

子どもたちと地域の方々が関われる場があることは、地域の方々の生きがいにもなっていると思います。少しずつ互に関われる場が、もどってくることを願っています。地域の方々も子どもたちとの交流を通じて、生きがいを感じたり、改めて、郷土愛が育まれるきっかけとなったりするのではないのでしょうか。